

かけがわ市議会だより

令和8年2月1日

第98号

令和7年11月
定例会の内容を
お知らせします

おもな内容

- P2 議会報告会 P3 常任委員会 調査研究報告 P6 かけがわ・話・輪・和・ミーティングに寄せられたご意見
P7 補正予算等の審議内容 P8 審議結果一覧 P9 代表質問 P11 一般質問 P15 掛川市議会 20年の歩み
P16 今後の議会予定／議員研修会／防災訓練／表紙のキーワード／傍聴席

～市民により開かれた議会を目指して～

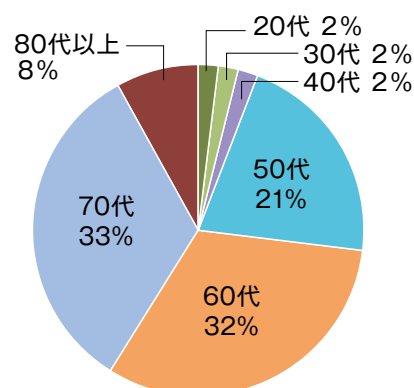
令和7年度「議会報告会」

多くの皆様のご参加・ご視聴ありがとうございました。

議会報告会は、市民の皆さんに議会の活動内容を伝えるとともに、ご意見を伺い、それを議会活動に生かすことを目的として開催しています。

令和7年度は3つの会場で実施し、**土曜日午前中の開催や託児サービスの導入**により、幅広い世代から多くの方々にご来場いただきました。

また、コロナ禍をきっかけに始めた**WEB配信**は、市民の皆さんがいつでも、何度でも視聴でき、巻き戻しや早送りができる利便性が評価されています。皆さんからいただいた貴重なご意見を大切にし、より良い議会活動を目指してまいります。ご協力に感謝申し上げます。



アンケートの年代別割合



たまり～な(10月25日)



掛川市生涯学習センター(10月28日)



掛川市文化会館シオーネ(10月30日)

全般的な感想や議会に関するご意見、ご要望について

- 今回、土曜日の開催で託児サービスがあったため参加できました。土日開催やオンラインでの開催など、若い世代でも誰でも気軽に参加できるようになると助かります。
- 目標を設定すると達成度が明確にわかります。今回は中間報告とのことですが、目標に対してどのくらい達成しているかが分からなかったもので、そういった達成度が「見える化」されると、聞き手に伝わりやすいです。とても良い活動だと思います。期待しています。
- 報告会の発表資料としてよくまとまっていると思いました。しかし、市民にとっては具体性に欠ける内容だと思いました。
- 議会報告会をもっと増やして、市民の声を聞いて。
- 広報かけがわや議会だよりだけでは伝わらない議会の取り組みを聞くことができ、大変ありがたかったです。これからも市政の推進をよろしくお願いします。
- 今回取り上げていた取り組みについて、絵に描いた餅にならないようにしてもらいたいです。

「議会報告会 報告動画」は引き続き視聴できます。
ぜひご覧ください。

ご視聴はこちら ➡



総務委員会 調査研究報告

委員長 安田 彰

年間テーマ 選挙のこれからのカタチ

調査研究報告

- ◆現在3か所で行っている期日前投票所の増設を検討すること
- ◆投票日当日、市内のどの投票所でも投票できる「共通投票所」を導入すること
- ◆若い世代への選挙啓発と投票率向上につながる取り組みを進めること
- ◆高齢者や障がい者にも投票しやすい環境づくりを進めること
- ◆投票所の再編や投票時間の短縮等、地区役員や市職員の負担軽減、選挙事務の効率化を進めること



議会報告会での皆さんからのご意見（アンケート含む）

- 期日前投票所の増設や共通投票所の導入を進めてほしい。
- 中山間地域の高齢者の投票率向上のため、バスによる移動型期日前投票所の導入を考えてほしい。
- 若者の選挙立会人には賛成。山間部の投票所は、投票時間を2時間繰り上げてほしいと思う。
- 立候補予定者の政策討論会を行うことで注目が集まり、投票率が向上すると思う。
- 若者が関心を持ちそうな動画などを作成して周知するとおもしろそう。
- 小中学校や高校で市政についての学びが少ない中で、急に選挙に行きましょうと言われても投票したいとは思わないのでは。
- 今後のことを考えると、電子投票の導入が必要。

まとめに向けて

多くのご意見をいただき、ありがとうございました。民主主義の土台として、選挙は重要です。掛川市の投票率を維持・向上するためには、時代にあった取り組みが求められます。期日前投票所の増設や共通投票所の導入等は有効ですが、予算を必要とします。また、選挙事務の効率化やSNS等の活用による選挙啓発も大切な視点ですので、研究を続けます。

皆さんからのご意見を踏まえ、「選挙のこれからのカタチ」について提言をまとめてまいります。



行政視察（南丹市）の様子

「令和7年度 総務委員会
議会報告会動画」は
こちらから視聴できます。

文教厚生委員会 調査研究報告

委員長 石川紀子

年間テーマ

認知症みんなで支えるまち 掛川
～あなたらしく生きるための人生会議～

調査研究報告

- ◆日常の中での「ちょっとした気づき」を支援につなげるネットワークを整備し、早期発見・早期対応につなげていく支援体制を構築すること
- ◆相談支援窓口である「ふくしあ」などの窓口を、生活のさまざまな場面で活用してもらえるように、周知の仕方を検討していくこと
- ◆介護を担う家族が孤立することなく、安心して相談や休息ができるよう支援の充実を図ること
- ◆新・私の健康人生設計ノート（ACP）を活用して、本人の希望を尊重できる環境づくりを進めていくこと



議会報告会での皆さんからのご意見（アンケート含む）

- 認知症に対する理解を子どもも含めて広めていく必要があり、専門職だけでなく地域の理解も必須だと思う。
- 重度の認知症になる前に、人とのふれあいが大切だと思う。高齢者が気軽に、ご家族の負担も少なく利用できる施設とその仕組みを作ってもらいたい。
- 地域での気付きが生かされず介護の孤立が生じる。相談できない人をどう支援するのか、安心できる体制を構築してほしい。
- 相談窓口の周知やACPの普及など、どのような方策がよいのか。人は当事者にならないと行動しない（知ろうとしない）ことが多いと感じる。

まとめに向けて

本委員会では、高齢者やその家族が地域で孤立することなく、その人らしく生きがいを持って暮らしていくために、医療、福祉、教育と連携し、地域全体で支える仕組みづくりを検討しています。

誰もが尊厳が守られ、安心して暮らせるまち掛川をつくっていくよう努めます。



現地視察（中部ふくしあ）の様子

「令和7年度 文教厚生委員会 議会報告会 動画」はこちらから視聴できます。

環境産業委員会 調査研究報告

委員長 高橋 篤仁

年間テーマ 物流拠点がはたす掛川市発展の可能性について

調査研究報告

- ◆全国初となる、高速道路から降りずに中継ができる物流拠点造りなどに参画、協力して時代の先駆けを目指すこと
- ◆魅力ある物流拠点の形成を基に、さらなる企業誘致活動につなげる
- ◆立地を生かした物流拠点整備に、国が新設予定の支援制度を活用すること
- ◆物流拠点を形成するにあたり、長期的な都市計画と秩序ある土地利用を基本とすること



議会報告会での皆さんからのご意見（アンケート含む）

- （仮称）掛川倉真第2パーキングエリア開発事業について初めて聞いた。とても大切なプロジェクトだと思う。市民にもっと伝えてもよいのではないかな。
- 夢のある話でよかった。ただ、市民参加できる施策も欲しい。また、企業誘致や防災拠点にすることで掛川市の発展にどのように寄与するのか疑問である。
- 物流拠点ができるなら、派遣労働者・パートタイム労働者ではなく、正社員として働くことができる場所になってほしい。
- 物流拠点整備の前に道路網の整備が必要である。

まとめに向けて

議会報告会では、道路整備の必要性や市の具体的メリットの明示を求める声が多く、労働環境改善、企業誘致や防災機能への期待も寄せられました。

本委員会では、こうした市民の声を真摯に受け止め、立地や先端技術の活用も視野に入れながら、地域の発展と市民生活の向上に資する政策提言を行ってまいります。

今後は実効性のある施策へと結びつけるべく、調査研究をさらに深めてまいります。



事業者との意見交換の様子

「令和7年度 環境産業委員会 議会報告会動画」はこちらから視聴できます。

かけがわ・^わ話・^わ輪・^わ和・ミーティング に寄せられたご意見

かけがわ・^わ話・^わ輪・^わ和・ミーティング（旧：出前講座）では、高校生からお年寄りまで幅広い世代の方々と意見交換を行っています。

横須賀高校（10月23日、24日開催）

- 市の使える制度を広報すべき。
- 観光大使により活躍していただき、掛川を世界に発信する。
- 掛川市の魅力が知られていないため、通過されてしまうだけでは活性化しない。食事したり、買い物したり、そこで、お金を使ってもらえるようになれば、地域が活性化、発展するのではないか。
- お年寄りが、生活するうえで困らないようにしてあげたい。

掛川東高校（10月31日、11月6日、11日開催）

- 観光客の最初の玄関口としての掛川駅は、お出迎え感をもっと出すとよい。
- 道路が狭く、バスが通る際に事故が起きないか心配になる。特に、掛川東高校近くにある東名高速道路のガード付近。また、登下校で歩行者、自転車通学の人が、混在しているため、拡幅工事ができないか。
- クリスマスマーケットのような催しがあればうれしい。季節ごとに人が集まるイベントの創出を期待する。
- 「選挙に行こう」よりも「興味を持つ入り口作り」が重要。若者が自分ごととして政治を感じられる仕掛けが求められる。



※ 1月9日に開催したシニアクラブ掛川と、2月14日に開催予定の掛川市消費者協会の内容は、次号で紹介する予定です。



市民に、より開かれ信頼される議会となるために、今後もかけがわ・^わ話・^わ輪・^わ和・ミーティングを実施してまいります。

お申し込みは
こちらから



補正予算等の審議内容

令和7年度一般会計補正予算（第5、6号）の概要

補正額（第5号）	11億7,641万円
補正額（第6号）	2億2,713万円
補正後の予算額	640億5,494万円

第5号では、下記のほかに、人事異動に伴う人件費の増額、指定管理者への光熱費高騰対策支援金の追加、掛川城太鼓やぐらの屋根補修工事費等の増額、申請件数増に伴う補聴器購入費助成事業費の増額などがありました。

第6号では、人事院勧告に伴う給与等改定の人件費が増額されました。

地域協働環境整備費 増

6,000万円

道路の舗装修繕、河川や水路の清掃、整備などの地区要望や、建設資材の価格高騰等に対応するため、施設修理費を増額する。

主な質疑

Q 施設修理費の内容は。

A 毎年6月までに提出される当初の地区要望のうち、令和7年度中に対応が必要な要望を完了させるための補正予算である。



私立保育園等運営費 増

3億7,910万円

国が定める基準価格の増額改定等に対応し、私立保育園等運営費を増額する。また、令和6年度決算に伴い、国庫交付金及び県負担金の精算返還金を追加する。

主な質疑

Q 市内で出生数が減少する中、保育ニーズがどう変化しているか。

A 保育ニーズは高まっている。令和3年度に保育利用した園児は延べ30,866人だったが、令和7年度は延べ32,339人と見込んでいる。



中長期在留者等事務費 増

107万円

中長期在留者等の在留カードとマイナンバーカードの一体化により、住居地等記録端末を調達するため、備品購入費等を追加する。



主な質疑

Q 在留カードとマイナンバーカードの一体化とは、在留カードに住民記録データの情報を組み込むということか。

A 従来、在留カードは地方出入国在留管理局、マイナンバーカードは市町村でそれぞれに手続きが必要だったところ、一体化により、在留カードとマイナンバーカードの手続きが、地方出入国在留管理局で一括して対応可能となった。ただし、住所変更については、これまでどおり市町村での手続きが必要である。

11月定例会における審議結果一覧

審議の結果、予算17件、条例10件、その他1件を可決しました。

■全会一致で可決

予 算	令和7年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第2号）について	令和7年度掛川市公共下水道事業会計補正予算（第2号）について	
	令和7年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	令和7年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）について	
	令和7年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第2号）について	令和7年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算（第2号）について	
	令和7年度掛川市水道事業会計補正予算（第1号）について	条 例	掛川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
	令和7年度掛川市公共下水道事業会計補正予算（第1号）について		掛川市水道事業給水条例の一部改正について
	令和7年度掛川市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）について		掛川市火災予防条例の一部改正について
	令和7年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業会計補正予算（第1号）について		掛川市環境保全センター条例の廃止について
	令和7年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について		掛川市大東図書館施設整備基金条例の廃止について
	令和7年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について	そ の 他	緊急防災等工事計画の策定について
令和7年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について			
令和7年度掛川市水道事業会計補正予算（第2号）について			

■賛否の分かれた議案 ○賛成 ×反対

議員名 議案名		創 世 会												市民のこえ		共掛*		共*	み*			
		藤原正光*	塩崎克彦	杉山康弘	小田つとむ	山田正彦	堀内宏樹	鷲山記世	安田 彰	石川紀子	山田浩司	高橋篤仁	松本 均	山本行男	山下浩章	藤澤恭子	窪野愛子	嶺岡慎悟	富田まゆみ	鈴木久裕	勝川志保子	川上志満
予 算	令和7年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
予 算	令和7年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
予 算	令和7年度掛川市一般会計補正予算（第6号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
条 例	掛川市上下水道経営審議会条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
条 例	掛川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
条 例	掛川市特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
条 例	掛川市教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×

*議長（藤原正光）は、採決には参加しません *共掛▶共に創る掛川 *共▶日本共産党議員団 *み▶みんなの波

代表質問

Q & A

2名以上の議員で構成される3つの会派（創世会、市民のこえ、共に創る掛川）が代表質問を行いました。議会でのさまざまな論議が令和8年度の市政運営に生かされていくことを期待します。

各会派の通告要旨は
こちらから▶▶▶



創 世 会



安 田

彰



▲創世会の
代表質問は
こちらから

市長2期目開始から半年、市民との対話の手応えは

Q 市長は対話を重視しているが、市民との直接対話の中で何を伝えたか。また、市民が久保田市政に何を求めていると感じたか伺う。



持続可能な地域社会の実現を目指し、課題解決に取り組む

A 誰もが何度でもチャレンジできるまちを目指し、豊かで安全安心なまちの実現を訴えてきた。防災強化や草刈り等の課題解決を求める声が多く、「人と環境の持続可能性」の必要性を改めて感じた。地域の担い手不足や資源循環の推進等の課題に向き合い、持続可能な地域社会の実現を目指す。

掛川市の空き家対策の現状および今後の方向性は

Q 市長は、増加する空き家の活用促進を重点と考えている。空き家対策についての現状および今後の方向性について伺う。



実態調査結果を基に計画策定と所有者への活用を促す

A 現在、空き家活用モデル事業では、好事例となる4事業が進められているほか「空き家」子育て世代応援住宅事業費補助金では、想定を上回る申請があり移住にもつながっている。今後は、現在進めている空き家実態調査の結果を踏まえ、空き家等対策計画の策定と、所有者への活用を促していく方針である。

【その他の質問事項】

- ・掛川市の活性化に向けた取り組みについて
- ・信頼される学校に向けて

市民のこえ



窪野 愛子



市民のこえの
代表質問は
こちらから

市民に対して来年度の厳しい財政状況の説明と理解を

Q 厳しい事業見直しや経費削減による市民サービスへの影響が懸念される。財政状況を市民に説明し理解と協力を得る必要があるのでは。



A 令和8年度当初予算編成は社会保障費増や物価高騰等を受け、事業の見直しや経費削減など厳しい財政状況への対応が求められている。財政状況をホームページに公開することで、透明性を確保し、市民の御理解をいただけるよう努めていく。

短時間の大雨で一気に高まる災害リスクへの対策は

Q 近年の風水害は短時間に多量の雨が降るのが特徴だが、大雨で高まる災害リスクに対し、対策や今後の備えを伺う。



命を守る行動ができるようソフト対策を進める

A 短時間の大雨による災害リスクに対応するため、河川や排水施設の整備を進めるとともに「家庭の避難計画」作成を推進している。今後、掛川市防災訓練3カ年計画に基づき、自助・共助の防災能力を一定基準まで引き上げ、迅速かつ正確な情報提供を行い、命を守る行動ができるようソフト対策を進めていく。

共に創る掛川



富田 まゆみ



共に創る掛川の
代表質問は
こちらから

条例見直しを含めた地区まちづくり協議会の在り方は

Q 協議会設立から節目の10年。成果や課題、地域の声を踏まえ、協働によるまちづくり推進条例の見直しも含め、協議会の在り方を伺う。



課題解決に向け多様な主体との連携や条例の検証を行う

A 協議会は、地域課題解決や住民の交流促進等に貢献してきたが、担い手不足や活動のマンネリ化等の課題も顕在化している。これらの課題に対応するため、多様な主体との連携等に取り組む必要がある。条例については、第3次掛川市総合計画でのまちづくりの方向性や、条例制定時の経緯を考慮し検証していく。

長期的視点に立ち学校再編計画を見直すべき

Q 学園ごとの児童生徒数の増減を含めた在籍予測や厳しい財政状況を市民に周知、共有の上で、総合的に学校再編を見直すべきでは。



学校再編計画の見直しは令和10年度に実施する

A 学校再編計画は概ね5年おきに見直すとしている。コロナ禍以降の出生数の著しい減少は想定を超えていたが、令和5年度策定時に想定した人口減少や少子化、財政等については、現状では状況の大きな変化はないと考えるため、計画の初回見直しは、予定どおり令和10年度に実施したいと考える。

一般質問 Q & A

各議員の通告要旨
はこちらから▶▶▶



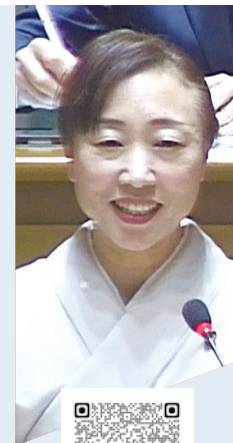
A 学校ではデジタル機器の使用等に関するハンドブックを活用し、健康への注意点や使用ルール等を指導している。また、情報モラル教育や保健指導を通じ、長時間使用の影響等を正しく理解させ、健全な利用につながるよう促している。今後は、家庭への啓発活動にもより重点をおいて推進していく。

家庭と連携して、デジタル機器の適切な活用を推進する

Q 小中学校の児童生徒一人一台のタブレット端末貸与において、デジタル機器への依存を防ぐための使い方やデジタル機器が体に与える影響について、児童生徒へ適切な指導がされているのか伺う。



デジタル教育と子どもたちの健やかな成長を願って



市民のこえ 藤澤 恭子

藤澤議員のすべての一般質問が視聴できます



A 掛川市の温室効果ガス排出量は令和3年度時点ですべて平成25年度比5.8%減少である。掛川市は産業部門からの温室効果ガス排出量が最も多いため、産業部門の省エネ支援や協定事業者との連携を推進している。市役所も高い目標を掲げ率先しCO2削減に取り組んでいる。今後も目標達成に向けた努力を継続する。

企業連携や庁内での取り組みを継続し目標達成を目指す

Q 環境日本一を目指し取り組んでいる第3期実行計画では、温室効果ガス排出量削減目標を、平成25年度比46%としているが、5年後に迫った現在の進捗状況について伺う。

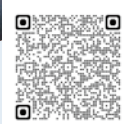


温室効果ガス排出量削減の進捗状況は



創世会 塩崎 克彦

塩崎議員のすべての一般質問が視聴できます



【その他の質問事項】

・これからの掛川市の農業について

創世会 堀内宏樹



堀内議員のすべての一般質問が視聴できます

ＡＩオンデマンド交通の課題と今後の展開は

Q 新しい地域公共交通であるＡＩオンデマンド交通「CHA-のり号」を掛川市内全域に展開させる順序とスケジュール感を伺う。



実証実験を分析し効果的な運用やスケジュールを考える

A まずは実証実験を行った桜木地区を起点とし、隣接するエリアから順次対象地域を拡大することで、効果的な運用を目指したいと考えています。スケジュールについては、現在実施中の実証実験の結果を詳細に分析し、課題を整理した上でまとめたいと考えています。

【その他の質問事項】

・消防団員確保の必要性について

創世会 松本均



松本議員のすべての一般質問が視聴できます

今後の掛川市財政について

Q 令和7年度末の財政調整基金残高見込みは約14億5千万円となり、ふるさと納税も目標に達しない見込みである。財政調整基金残高等の推移など、今後の財源確保について伺う。



基金残高減少への対応と持続可能な財源確保策に努める

A 令和7年度末の財政調整基金残高は、前年度から約10億7千万円の減少が見込まれ、残高回復が急務となっている。減少の主な要因は社会保障費増や物価高騰による経費増である。基金残高の回復に向け、ふるさと納税の増収、国や県補助金の活用、使用料の適正化等を進め、財源確保に努めていく。

【その他の質問事項】

・高市新政権について

共に創る掛川 鈴木久裕



鈴木議員のすべての一般質問が視聴できます

外部民間人材の競争試験によらない任用の影響は

Q 民間企業からの人材登用は時に有効だとは思うが、競争試験でなく選考で無期限の職員として任用するには、一定の基準等を制度化し明示したうえで行わなければ、市職員への士気に影響しないか。



適切な選考を行い、職員に良い影響を与えている

A 民間専門人材の登用について、第3次までの競争（面接）試験を実施しており、適切な選考を行っている。また、今いる市職員にも、豊かな経験と能力を持つ人材と共に職務を遂行することで、良い影響を与えていると考えています。

【その他の質問事項】

・令和6年度一般会計歳入歳出決算認定に対する附帯決議について
・お達者年齢と高齢者生きがい増進施策について
・ふるさと納税への取り組みについて

日本共産党議員団 勝川志保子



勝川議員のすべての
一般質問が視聴
できます

リニア工事から将来にわたり命の水を守り切る決意を

Q 88%を依存する大井川の水への影響が懸念されるリニア工事に対して、安易な妥協は許されない。永続的に命の水を守り切るための市長の決意を伺う。



リニア工事に伴う水枯れ(瑞浪市大湫)

水資源を守る方策の検討と丁寧な市民説明を継続する

A 水資源を守るため、工事による水量の減少や水質への影響について、事業者が永続的に責任をもって因果関係を説明し、具体的な解決策を実施することを求めている。事業者には、何十年後も無期限で対応すること、地域住民に丁寧な説明を行い、理解を得る努力を継続するよう強く要望していく。

【その他の質問事項】

- ・地域クラブ展開には子育て支援の裏付けを
- ・保育需要に見合う学童保育所の充実を
- ・小規模事業者への支援を

みんなの波 川上志満



川上議員のすべての
一般質問が視聴
できます

子どもの心身の健康と教育環境に向けて

Q 子どもたちのワクチン接種には、リスクとベネフィットがある。市として、保護者がワクチンのメリット、デメリットの双方を正しく理解し判断できるようにするための取り組みを行っているか伺う。



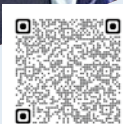
保護者が正しく判断できる情報提供を行う

A 本市では、健診・相談・予防接種説明会、乳児家庭全戸訪問、市公式ホームページを通じ、予防接種の目的や効果、予防接種健康被害救済制度について説明を行い、保護者が正しい情報を基に判断できるよう取り組んでいる。

【その他の質問事項】

- ・新型コロナウイルス感染症対策の総括と今後の感染症の備えについて

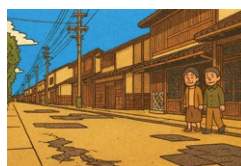
市民のこえ 山下浩章



山下議員のすべての
一般質問が視聴
できます

地域の誇りを未来へつなぐ投資としたまちづくりを

Q 歴史ある町並みの景観整備や無電柱化を、単なる支出ではなく「地域の誇りを未来へつなぐ投資」として捉え、まちづくりを進める考えはないか。



パッチワーク状に舗装された凸凹の路面を悲しそうに眺める住民
※生成 AI により作成

貴重な歴史文化を残す観光地とし町並み整備を研究する

A 本市では、歴史文化の保存と併せ、観光地としての価値向上や観光客増加による地域の活性化を目指している。歴史ある町並みの整備についても、各所管課の事業実施計画が策定できた段階で、ふるさと納税の活用等による財源確保を研究していく。

【その他の質問事項】

- ・また来たい、来年も来たい、そして住みたくなる掛川にするための政策について

創世会 高橋 篤仁



高橋議員のすべての一般質問が視聴できます

被災者に寄り添った支援の熟考を

Q 静岡市で作成されている、被災者支援制度が一覧で確認できる案内冊子を参考にすべきでは。



被災者支援情報の提供体制を検討する

A 災害時、被災者が必要な情報を迅速に得られるよう、支援制度を整理した冊子やチラシを用意することは重要であり、これにより情報収集の手間を軽減し、支援の迅速化を図ることができる。今後、冊子配布やAIチャットボットを活用した、適切なタイミングでの情報提供体制の構築についても検討を進める。

創世会 山田 浩司



山田議員のすべての一般質問が視聴できます

急増する特別支援ニーズに、計画的な学校サポーター配置を

Q 特別支援学級の児童は6年間で1.8倍に増えた一方、学校サポーターは1.6倍に留まる。現行の配置体制をどう捉え、今後の方向性をどう考えるのか伺う。



特別支援教育充実へ向けてさらなる体制強化を行う

A 特別な支援が必要な児童生徒を支援するため、学校サポーターや助員を配置しているが、支援を必要とする児童生徒の増加に伴い、さらなる増員が必要だと認識している。よりきめ細やかな支援を受けられる環境を整えるため、引き続き子どもたち一人ひとりが安心して学べる環境づくりに努めていく。

【その他の質問事項】

・令和8年度に向けた掛川市のDX推進について

創世会 石川 紀子



石川議員のすべての一般質問が視聴できます

農業用ため池の今後の維持管理と安全対策のために

Q 管理者の高齢化や離農により後継者不足が進み、今後さらに農業用ため池の維持管理が困難になることが予想される。市内222か所あるため池の維持管理について、市の見解を伺う。



大坂居沼池




ため池の効率的な管理方法を模索していく

A ため池は洪水調整池としての側面もあり、農業用だけでなく地域を守るために必要な施設である。現在、ため池の草刈りにおける地域負担を少しでも軽減できるよう「リモコン式草刈り機」の導入を検討している。今後も現状の管理体制を維持しながら、効率的な管理方法を模索していく。

掛川市議会 20年の歩み

平成17年、掛川市・大東町・大須賀町が合併し、新・掛川市議会（議員定数30名）が誕生しました。

議会概要より抜粋

平成20年	議員定数削減可決（30席→24席）／本会議インターネット中継導入	
平成25年	「議会基本条例」制定※1／議会報告会開始	
平成26年	政策討論会開始（政策討論→政策提言）	
平成28年	「掛川市健康医療基本条例」制定※2／議員定数削減可決（24席→21席） かけがわ子ども議会開催	
平成29年	「かけがわ子ども議会」を「かけがわ中学生議会」に改称（～平成30年） 政務活動費（平成28年分～）の領収書をインターネット公開 本会議託児サービス開始／本会議手話通訳インターネット中継導入	
平成30年	代表質問導入／議案等の審査資料公開（ホームページ掲載） 個人の表決結果（賛否）公表（ホームページ、市議会だより掲載）	
平成31年	「掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例」制定※3／議会BCPの策定※5	
令和元年	常任委員会における政策立案（テーマ制本格導入）	
令和2年	WEB de かけがわ議会報告会配信開始	
令和3年	タブレット端末・ペーパーレス会議システム導入／オンライン委員会運営要綱制定	
令和4年	予算決算常任委員会設置	
令和5年	「もったいないを合言葉にカーボンニュートラルを推進する条例」制定※4	
令和6年	「出前講座」を「かけがわ・話・輪・和・ミーティング」に改称	

※1～4 議員発議による条例制定

※5 議会BCP…災害が発生したときにできるだけ早く通常の業務に戻すため、災害時における議員の役割と行動指針を明記した業務継続計画のこと

市議会だより 表紙の変遷



今後の議会予定

HPからも
ご覧いた
できます



※12月16日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

2月定例会 2月19日(木)～3月25日(水)

2月

- 4日(水)9:00 全員協議会
- 19日(木)9:30 本会議(開会、議案の提案説明)
- 20日(金)9:30 本会議(議案の提案説明)
- 25日(水)9:30 本会議(令和7年度関係議案質疑～委員会付託)
本会議終了後 予算決算委員会、分科会
部門別常任委員会
- 27日(金)9:00 予算決算委員会

3月

- 3日(火)9:30 本会議(令和7年度関係議案委員長報告～採決)
- 4日(水)9:00 本会議(一般質問)
- 5日(木)9:00 本会議(一般質問)
- 6日(金)9:00 本会議(一般質問、令和8年度関係議案質疑～委員会付託)
本会議終了後 予算決算委員会
- 10日(火)9:00 総務分科会
- 11日(水)9:00 環境産業分科会
- 12日(木)9:00 文教厚生分科会
- 16日(月)9:00 部門別常任委員会
- 18日(水)9:00 予算決算委員会
- 25日(水)9:30 本会議(令和8年度関係議案委員長報告～採決、閉会)

令和7年11月13日

掛川市議会 防災訓練



議場における地震や火災等の発生を想定した防災訓練を実施しました。議員や議会事務局職員が避難経路や避難場所を確認するとともに、実際に避難行動を体験しました。

訓練により災害時の対応を具体的にイメージすることができ、いざという時に備える重要性を再認識しました。今後も防災訓練を重ね、災害への備えを強化していきます。

CHECK

掛川市は平成31年に「掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例」を制定し、市民・事業者・市の役割を明確化しました。この条例を機に、議場の傍聴席を含む全席にヘルメットを設置しました。

また同年、災害時における議員の役割と行動指針を明記した「議会BCP(業務継続計画)」を策定しました。



非常用扉の確認

議員研修会

掛川市議会では議員の能力向上を図るため、議員研修会を開催しています。

10月7日 エネルギー関連研修

資源エネルギー庁から、日本のエネルギーを巡る状況や第7次エネルギー基本計画の概要などについて学びました。また、中部電力(株)から、浜岡原子力発電所の状況についての報告がありました。

12月10日 手話研修

掛川市身体障害者福祉協会ろうあ部の松本久夫氏と小西孝一氏から、手話言語条例や日常的なコミュニケーション(あいさつや自己紹介など)を図るための手話を学びました。



手話研修の様子

表紙のキーワード



今号も、生成AIを活用し「遠州横須賀凧揚げまつり」をイメージした表紙を作成しました。このイベントでは、横須賀凧をはじめ、全国の凧愛好家が自慢の凧を持ち寄り、広い空を華やかに彩ります。凧揚げまつりの楽しさや活気が伝わるイラストとなりました。

傍聴席

わからないことも多いですが、無関心ではありたくない。ので時々傍聴に伺っています。

匿名 40代

傍聴することで、より市が考えていることがわかるので、傍聴することをお勧めします。

Hi~さん 40代 主婦

母子手帳のことなど、歩み寄る姿勢が感じられとても好感を持った。ちゃんと結果を出して。

みんなが笑顔の掛川市へさん 40代

皆さんの行政への真剣な姿勢と緊張感が伝わり傍聴して良かったと思いました。

柴兄さん 70代

市政を真面目に考える大人たちの姿を、ぜひ地元の全中学生に見てほしいですね。

えーとくさん 60代 自営業

デジタル教育の課題の答弁、明瞭簡潔な分かりやすい直接的な回答が欲しかったです。

子育てOBさん 60代

小中一貫校新設の件。財政が厳しく補助も少ない中、なぜ今やろうとするのか疑問です。

伊藤好美さん 73歳

